

JForest

栗駒高原森林組合だより

やまびこ

第 39 号

令和 3 年 12 月 1 日

発行・編集

栗駒高原森林組合

栗駒桜田街道西11の96

TEL(0228) 45-3311

FAX(0228) 45-3312

<http://kurishin.ec-net.jp>



「山もつとジョージ」実演研修会 (3 頁に関連記事)

目 次

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ◇組合長挨拶..... 2 | ◇全国森林組合大会..... 5 |
| ◇活性化センター実演研修..... 3 | ◇第34回優良みやぎ材展示即売会..... 5 |
| ◇くりはらの苔ふれあいフェア..... 4 | ◇木材市況..... 6 |
| ◇未来創造キックオフイベント..... 4 | ◇係より..... 6 |

ウッドショックの背景と現状



代表理事組合長
佐藤 則明

組合員の

皆さん「ウッドショック」についてどう存じますか。

オイルショックは知

っているけど「ウッドショック」は知らない、という方が多いのではないのでしょうか。

今年(2021年)の五月頃から、建築現場では製品不足が起きて、建築の工期が大幅に遅れだしてきました。それに伴い、杉丸太や製品価格の値段が上がりはじめてきたと言われています。米材や欧州材の輸入量が減少して、日本国内の木材バランスが崩れてしまっただからです。

これによつて製品価格が跳ね上がってきました。「ウッドショック」は日本の木材需要が増えたのではなく、輸入木材が減つて製品価格が高騰したのです。

ではなぜ「ウッドショック」は起きたのでしょうか。第一は米国の事情です。

コロナ禍への景気対策で新設住宅着工数の急増が発端でした。

①住宅建築用製品の需要拡大

②北米西海岸の製材工場がコロナ禍によつて需要を満たすだけの製品供給が出来な

くなった

③米国内需要がひっ迫して日本への製品輸出量が減少した

④もろに影響を受けたのは首都圏の住宅市場

⑤米材の不足分のカバーを南九州に求めた

⑥製材品の注文が殺到したが消費税増税↓コロナ禍↓集中豪雨の影響で生産体力が消耗し期待を満たすことができない

⑦北関東、南東北に注文が広がった

⑧海上輸送用コンテナ不足による物流の停滞

等々が原因と言われています。

第二には環太平洋地域と言われています。米中両国の経済発展によつて引き起こされています。その一角に位置する日本は住宅市場が低迷し、米中両国の経済発展に取り残された格好になってしまいました。とりわけ中国の存在が大きいようです。

品質、価格、納期に割かし厳しくない中国は大量に高値で買ってくれるので、従来は日本向けの南方材、ヨーロッパ木材が、中国に流れていることが原因です。こうして日本の住宅・木材市場は完全に足元を見られ「買ひ力の低下」は今後の日本の森林・林業・木材産業の在り方を考える機会になったと思われる。



今、我々木材の供給側は丸太不足から木材市場でも、製材所・合板工場からも高値取引を働きかけられています。

昨年はコロナの影響があつて価格は前年度より下がつていましたが、今年は値を戻し更に一割二割上げでの取引になっていきます。製品価格は二倍と言われていることを考えれば木材はまだ上がる要素を含んでいます。これ以上の期待は危険を伴うのでこれくらいで継続してもらえばと考えています。今、木材の自給率は令和二年度で三五・八%。最低の平成十四年は一八・二%だったと言われています。ですから非常に伸びです。このウッドショックを機会に、輸入材主力の木材産業が国産材に舵を切ってくれることが、木材生産業者の私達にとつては望ましい姿です。今、収穫時期を迎えた人工林があります。

「宝の山」を、木材資源として有効に生かす経済活動が順調に回転させるチャンスになることを願っています。

栗駒高原森林組合は昨年「コロナに負けな」を合言葉に役員・職員・現場技能者が力を合わせ、合併以来最高の二・二万m(20t)トラック千台分の木材を生産できました。今年もそれを上回るペースで生産を続けています。更に五年後は(中期経営計画)三万mを達成できるように計画しておりますので、組合員皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

尚、今後の間伐・主伐計画のご相談も受け付けておりますので宜しくお願い致します。

造林作業機械「山もつとジョージ」実演研修会

令和3年10月15日(金)

宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部による造林作業機械実演研修会を、支部会員及び林業事業者31名参加のもと、栗原市花山字草木沢北山地内森林整備センター北山造林地で開催されました。

林業労働力の軽減及び省力化、事業コストの削減向上と担い手確保が目的で、林野庁補助事業である林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業対象機の



造林作業機械「山もつとジョージ」の実演研修を株式会社筑水キャニコムデザインの森仙台から講師4名を招き行われました。

この機械は地拵から下刈を行う多目的造林機械で、最大傾斜角30度までの作業と直径30cmの伐根は90秒で粉碎可能で、素材生産で林地に残された大量の残材や近年問題視されている竹の粉碎にも作業可能でした。

機械の特徴としては、独自開発のスパイクローラーで安定走行。坂での踏ん張りが効くステップ設計でオペレータの姿勢による負担を軽減します。また、運転席自動水平保持機能でオペレータの体重を垂直に保ちながら作業が行えることと、前後左右の傾斜を感知して傾斜角に応じて警告ブザーが鳴る安全機能を搭載していました。

アタッチメントを装着すれば下刈、残材集材、資材運搬も可能な作業機械でした。

今後、作業機械の部分的な改良と価格の見直しで、林業労働力の軽減及び省力化、事業コストの削減向上と担い手の確保が図られ造林作業機械「山もつとジョージ」が普及するものと確信しました。



粉碎用4面刈刃



下刈の為の伐根粉碎

くりはらの苔ふれあいフェア

「くりはらの苔ふれあいフェア」が、10月23日(土)栗駒岩ヶ崎「山の駅くりこま」を会場に、宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所、栗原市、一般社団法人栗原市観光物産協会、栗駒高原森林組合の主催で開催いたしました。

ふれあいフェアは、栗原地域の豊かな自然環境を活かしながら、地域の産業活性化を図るため、新たな森林資源として県内でこれまで活用事例のない「苔」を利用した地場産品の産地化を目指し、「くりはらの苔」の認知度向上と販路の開拓を図り苔の魅力を普及PRするものです。

2年前には、全国で初めてとなる苔の祭典「全国苔フェスティバルin栗原」を盛大に開催しましたが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度も規模を小さくし「くりはらの苔ふれあいフェア」となりました。

当日は紅葉シーズンと比較的天候にも恵まれ、約600人の多くの方が来場されました。苔体験に関心を持った多くの方が開店を待ち望んでいました。

日本苔技術協会、山形県のモス山形、仙台市の仙台テラリウムラボ・コケモン、石巻市の株式会社ソーシオ、地元文字苔っこの会、栗原地域事務所、栗駒高原森林組合が出展し苔栽培のパネルやガラスの容器に苔を入れて飾り付ける苔テラリウムキット、苔玉、苔鉢などの展示、販売も行われ、未知の苔を紹介することができました。

特に、ワークショップ苔のテラリウムづくりや苔玉づくり体験には申し込みが殺到し、腕に自信を持った方々が興味津々と楽しそうに作り、癒されていました。

皆様のご来場誠にありがとうございました。



みやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校キックオフイベント

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ開校キックオフイベントが11月12、13日の両日、宮城県林業技術センターにおいて開催されました。

12日は東京大学名誉教授 白石先生の記念講演、及び林業関係者と先生とのトークライブがあり、当組合からも話題提供を行いました。

翌日はチェーンソーマスター競技が開催され、伐倒機を用いて正確な伐倒技術を競う中、当組合から現場技能者の千葉貴文氏が参加し見事優秀賞を獲得しました。



全国森林組合大会

令和3年10月28日(木) / 東京 メルパルクホール

去る10月28日東京メルパルクホールを会場に、全国森林組合大会が開催されました。

開催に先立ち表彰が行われ、当組合が優良組合表彰を受け、また功労者表彰として現場技能者の前田和幸氏が受賞されました。

大会では、SDGs及び脱炭素社会実現に貢献するとともに、新しい森林・林業基本計画等に対応し、林業経営の更なる発展に向け、新森林組合系統運動を決議しました。また、木材利用推進及び森林資源の循環利用と適切な管理を進めるため、制度の円滑な運用、森林整備予算の安定確保や人材確保・育成と労働安全対策強化等を強く訴え、大会を終了しました。



◆ 第34回優良みやぎ材展示即売会 ◆

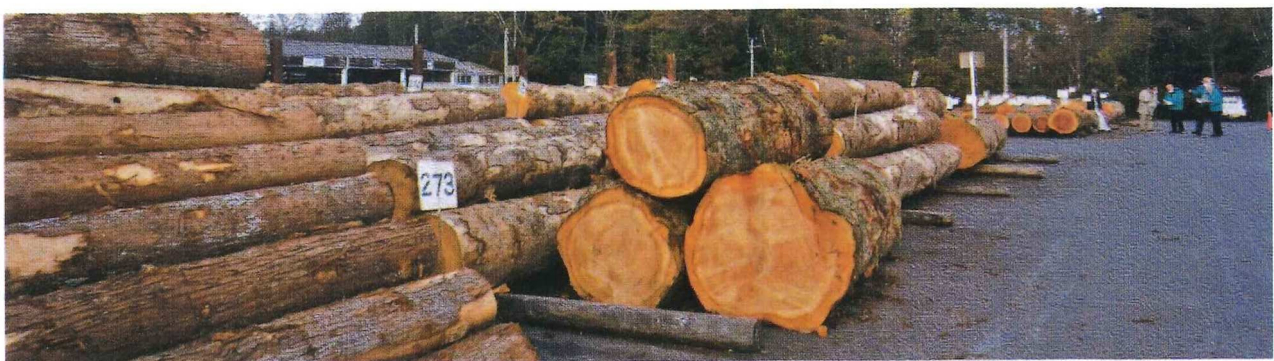
令和3年11月11日(木) / 宮城県森林組合連合会 大衡綜合センター

秋の優良みやぎ材展示即売会が、大衡綜合センターを会場に開催されました。

当日の出品量は2,208 m³、販売量2,151 m³、販売率97%。

出品量としては春よりも多く、当組合でも約41 m³を出荷しました。

落札状況として、春よりも値上り傾向が見られ材の流れが良くなりました。



＝ 木材市況 [10月] ＝

価格：1 m³当たりの単価

	樹種	材長	径級	高値	中値	安値	比	備考	
仙 北	スギ	3	14~16	—	—	—		市日	21日
			10~13直曲	11,800	10,080	4,000	△	出品量	349m ³
	4	14~18	11,800	10,080	5,000	△	販売量	349m ³	
		20~28	13,000	11,520	8,000	△	販売率	100%	
		30上	12,600	11,520	8,000	—	販売額	3,673千円	
		2	18上	—	—	—	—	平均額	10,524円
大 衡	スギ	3	20~30	12,600	11,520	6,500	—	市日	7日
			10~13直曲	11,520	10,080	5,000	△	出品量	428m ³
	4	14~18	11,520	10,080	5,000	△	販売量	405m ³	
		20~28	13,320	11,520	8,000	△	販売率	94%	
		30上	13,000	11,520	8,000	—	販売額	3,861千円	
		2	18上	—	—	—	—	平均額	9,533円

《△：上げ —：保合 ▽：下げ》※安値は曲材の価格です。

概況：出荷量は少なく、出品材には小丸太材が多く価格は横這いからやや値上がり傾向の動きが見られた。

4 m 24~38 cmの材には応札も多く価格は高値で安定している状況。40 cm上の大径材は応札は少なく当用買いで動きだった。今後、各製材所は在庫確保も含めた仕入に入ることから価格は横這いから値上がり傾向での動きになってくると思われるので出荷協力をお願いします。



◎詳細については、
 総務課にお問い合わせ下さい。
 ☎0228-45-3311



住所変更について
 組合員が住所を変更した場合、届出が必要になります。

承継加入手続きについて
 組合員が後継者に山林を贈与した場合、届出が必要になります。

相続加入手続きについて
 組合員が死亡した場合、届出が必要になります。相続加入手続きをお願いいたします。

係より
組合員のみなさんへ

